

# 夢に向かって

学校教育目標(菊鹿小中学校)「ふるさとを愛し、夢の実現に向けて挑戦し続ける児童生徒の育成」  
菊鹿小スローガン ～ 伝え合い 学び合い 菊鹿愛 ～ 文責 校長 内古閑 見至

## ♪ I believe in future 信じてる

このタイトルは、「ビリーブ」という歌の歌詞からの引用です。12月6日(金)に実施された校内人権集会の最初に、みんなで歌い、体育館に響いた「未来を信じている」というメッセージを表した歌詞です。開会直後に、人権委員長の松本千夏さんが、「人権とは、『人が人として、幸せに生きる権利』のことで、みんなで大切にして笑顔いっぱいの菊鹿小を創っていきましょう!」とあいさつをしました。各学年からは、人権学習で学んだこと、これからの学校生活の中で大切にしていきたいこと、学級目標などが発表されました。その後、熊本県人権子ども集会の動画を視聴しました。校長からは、各学年から温かい素敵な発表があり、たくさん元気が出たことを伝え、言われたら心が楽しくなったり元気になったりするふわふわ言葉を使うことの重要性を話し、これからも自分たちの生活の中で学んだことや発表したことが守られているかどうか振り返りながら過ごし、みんなが明るく楽しく、安心・安全に過ごせる菊鹿小学校をみんなで創っていきましょうと呼びかけました。



### 各学年からの発表内容

#### 【1年生】

かにかが住む谷間に向かって石投げをするさるきちに「石が当たったら死んでしまう。やめてよ。」とかにかが訴える「さるとかに」という教材を通して学びを深めました。イヤなことがあったら、相手に自分の気持ちを伝えること、言えない時は誰かに相談することが大切。みんなで楽しく過ごせるよう、相手の気持ちを考えたふわふわ言葉を使っていきます。

#### 【3年生】

友だちからいやなことを言われたりされたりする女の子の話「差別ってなに」を通して、どんなことが差別なのか考え、差別をされた人の気持ちを考えました。人権を守るために取り組んでいきたいことを決め、発表しました。「だれにでも同じ態度で接し、やさしい言葉をかける。」「友だちがいやなことをされていたら『それはおかしいよ。』と勇気をもって言う。」

#### 【5年生】

クラスで悪口を言われたり、仲間に入れてもらえなくなったり等のいじめにあい、深く傷ついた女の子が、議題ボックスに手紙を入れ、学級でいじめについて話し合う「学級で話し合ったこと」を通して、寄り添うことやみんなで解決法を考え、いじめを無くす大切さを学びました。改めてクラスで作った人権目標は「いじめや差別を許さない、見て見ぬふりをしない、友だちに優しく接する、思いやりのある学級を目指します。」

#### 【2年生】

けんかが強い弱いや勉強や運動の上手・下手など相手の様子によって態度を変えていくことのおかしさを考えさせられる「ぼくのランドセル」という教材を通して「人にされていやなことは、人にしない。」ことを学びました。相手のことを大切にする気持ちを大切にして、2年生の人権目標「ありがとう・ごめんなさいが言える2年生」を守っていきます。

#### 【4年生】

小さな村で育ったある女の子が、転校先で「いなか者だから何もできない」と決めつけられいじめにあう「いなかの子だから」という教材を通して、学級に「〇〇だから」など決めつけはないかを振り返りました。友だちの長所や個性を大切にし、いじめや差別を絶対にゆるさない学級にします。人権目標は「友だちのきらりを見つけ、みんなが笑顔で過ごせるクラス」

#### 【6年生】

「人の世に熱あれ 人間に光あれ」という教材を通して、いじめや差別をする人がいなければ差別は起こらないことを改めて学び、生活を振り返りました。6年人権宣言・自分の発言や言動が相手にいやなおもいをさせていないのか考える。・ささいなことでも悪いと感じたら謝る。・自分の言動をふり返る。・常に周りのことを気にかけておく。・きめつけなど差別につながることをしない。見たり聞いたりした時に自分のこととして考え、注意できるようにする。



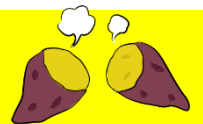
# 心に響いた「菊鹿っ子いきいきキャリアセミナー」

12月10日（火）に、今年は、10名の講師の先生を迎え、4年生以上91名のこどもたちを対象に「菊鹿っ子いきいきキャリアセミナー」を開催しました。働くことの意義や喜び、責任や苦悩など、講師の体験に基づく講話に触れたり感じたりすることで、将来への希望や目標及び働くことへの意欲をもたせることをねらいとして行ったものです。子ども達は、普段はなかなか聞けない仕事の話の聞けるとあって、楽しみにしており、集中して聞いていました。

セミナーでは、一人一人が希望する3人の方の講話を聞きました。講師の先生方からは、「仕事に就いたきっかけ」「仕事をするのが楽しい、好き、喜びとなること」「やりがい」「仕事で大切にしていること」「お客様に喜んでもらえることの嬉しさ」「仕事を通してつながったなかまのありがたさ」「仕事を通して感動すること」「仕事への誇り」などについて熱く語って頂きました。講師として、益田航太郎さん（熊本県警察官）、谷武珍さん（スポーツクラブ熊本ヴィレックス）、中嶋名穂さん（看護師）、市原伸生さん（農園経営）、神生侑依さん（美容師）、山城識子さん（獣医師）、久保田大樹さん（消防士）、高見真美さん（保育士）、池田和与さん（パティシエ）、矢野秀明さん（電気設備関係会社）に御協力頂きました。「仕事の楽しさが分かった」「夢への思いが強くなった」「聞いた話の内容をこれからに生かしたい」「将来に向けて努力したい」「話を聞いた仕事についてみたい」等の感想が聞かれ、とても有意義な時間になりました。ありがとうございました。



## 自分との戦い 持久走大会



12月13日（金）、持久走大会が開催されました。練習の時から、自分の目標タイムを決め、そのペースで走り通すことで、持久力や体力の向上を目指し、何事も最後までやり通そうとする心を育てることを目標に、一生懸命に取り組んできました。学校周辺にコースをとり、低学年は、約1000m、中学年は、約1500m、高学年は、2000mの距離を走りました。中高学年にとっては、あんずの丘から菊鹿小までのぼる通称「地獄坂」が最大の難関です。

本番では、ほとんどの児童が目標を達成することができ達成感を味わっていました。中には、ハプニングもあり思うように走れなかった子や、順位が上がらず悔し涙を流した子もいましたが、自分との戦いで、最後までやり遂げた姿はとても素晴らしく会場にいた者みんなを感動させました。多くの保護者や御家族・地域の皆様の温かい声援が飛び交い、子ども達にとって強い力となり、いつも以上に力が発揮できました。寒い中、温かい応援ありがとうございました。



本番後には、「虹の会」の皆様が、早朝2時頃から準備された愛情たっぷりのホクホクの焼き芋を全児童・全家庭に頂きました。あまりのおいしさに疲れも吹っ飛び、ニコニコ顔の子ども達でした。ありがとうございました。

